

THE ROOF



サー・ジョシュア・レイノルズ
《エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像》
1777年 油彩・キャンバス 当館蔵

Contents

- 企画展「光と遊ぶ超体験型ミュージアム 魔法の美術館」
- 企画展「ニューヨークが生んだ伝説の写真家 永遠のソール・ライター」
- 常設展示室紹介
- ワークショップ報告
- 報告「横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展」
- Report
- Information

この夏、美術館が魔法に包まれる。

光と遊ぶ超体験型ミュージアム

魔法の美術館

まほうの
びじゅつかん

見て、触れて、遊ぶ!

みなさんは、美術館と聞いて、どんなイメージをもちますか？美術鑑賞が趣味だという人にとっては、好きな作品に囲まれて、ぜひたくさんひとときを過ごせる場所、とこたえてくれるでしょう。けれども、美術館を訪れたことのない人にとっては、なんとなく近づきにくい存在になっているかもしれません。

いい絵だといわれている絵を、静かに見なければいけない場所。写真をとってはいけない場所。子どもが騒いでしまうかもしれないと心配して、親子で行くには、ちょっと気が引けてしまう場所……。そんな、きゅうくつなイメージをもっている人が意外と多いのかもしれない。

そんなイメージをがらりと変えてしまう展覧会が「魔法の美術館」です。不思議なタイトルだと思いませんか？展示室に入ってみれば、その



図1 坪倉 輝明 《七色小道》

意味がすぐにわかるはずですが。魔法に包まれたかのような、キラキラとした光と音にあふれた世界が広がっているからです。それでは、魔法使はいったい誰？もちろん、あなたです！

さっそく展示室に足を踏み入れてみましょう。すると、小道があらわれます。どこが魔法なのかと、いぶかしく思う人がいるかもしれません。では、この道を歩いてみてください。ほら、あなたの動きにあわせて、さまざまな色と光が地面にあふれ出てくるではありませんか！（図1）。

この小道をぬけて、つぎにあらわれてくるのは、カラフルなボールが映った壁です。この前に立って、動いてみましょう。あなたが画面に入り込んで、しかも、ボールを飛ばすことのできるのです（図2）。ふにや



図2 藤本 直明 《Immersive Shadow: Bubbles》

ふにやしたボールを動かす楽しさは、体験してみないとわかりません。さて、つぎに、あらわれてくるのは、不思議な形をした立体物です（図3）。よく見るとパンのクリップやおもちゃなどかたちがつけられています。この立体物の奥にある壁に映った影を見てみてください。あら、不思議！立体物からは想像もできない影ができていますではありませんか！

ここから先も、まだまだ不思議な作品たちがあなたを待ちかまえています。でも、それは、実際に美術館に来て、あなた自身がその魔法を確かめてみてください。なぜなら、あなたが魔法使いなのです。見て、触れて、遊べる「魔法の美術館」へようこそ！

（富岡 進一）

企画展

光と遊ぶ超体験型ミュージアム 魔法の美術館

2022年6月18日（土）～8月28日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（7月18日（月・祝）は開館、翌19日（火）は休館）

観覧料：一般／800（640）円

高校・大学生、65歳以上／500（400）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：郡山市立美術館

企画協力：ステップ・イースト



図3 佐藤 江未 《光を当てると浮かびあがる影の世界》



Forever Saul Leiter

ニューヨークが生んだ伝説の写真家

永遠のソール・ライター

1. ソール・ライター
《足跡》 1950年頃
発色現像方式印画
© Saul Leiter Foundation

モノトーンの雪景色のなかで、彩を放つ傘の赤。雨粒に包まれたガラス越しや、鏡に映り込む街角の豊かな表情。日常の何気ない光景を、類まれな色彩感覚と独自の詩的な距離感で捉えたソール・ライター（1923—2013）は、近年、最も注目されている写真家のひとりです。

ソール・ライターは、23歳の時に画家を志してニューヨークへ移り、亡くなるまでの60年以上マンハッタンの東10丁目に住み続けました。1950年代から気鋭の写真家として一線で活躍、『ヴォーグ』などの表紙を飾りますが、1980年代に華やかな商業写真から静かに距離を置きました。しかし、2006年にドイツの出版社シュタイデルからカラー写真の作品集『Early Color』が刊行されると、「カラー写真のパイオニア」として83歳にして「再発見」され、大きな注目を集めます。あえて名声から距離をおいた生き方も共感を呼び、世界中で熱狂的に迎えられました。



2. ソール・ライター
《帽子》 1960年頃
発色現像方式印画
© Saul Leiter Foundation

— 写真を見る人への写真家からの贈り物は、日常で見逃されている美を時々提示することだ — ソール・ライター

(Press release for Retrospektive exhibition at Deichtorhallen, Hamburg, 2012)

— 一時折見逃してしまうんだ。大切なことが今起きているという事実を — ソール・ライター

『写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと』（トーマス・リーチ監督、柴田元幸訳 日本公開2015年）より



3. ソール・ライター
《薄紅色の傘》 1950年代
発色現像方式印画
© Saul Leiter Foundation

ソール・ライターは、フランス19世紀末のナビ派の画家ポナールを敬愛するのと同じように、日本美術に心を寄せ、とりわけ北斎の浮世絵版画をこよなく愛していました。ライターの写真に頻りに登場する雨や雪のシーンや、思い切った中心をずらした構図などには、日本美術との親和性がたしかに息づいているのです。

ニューヨークという大都会を舞台に、ソール・ライターは日常のなかで、被写体を否定も肯定もせず、シンプルでたいせつな言葉を紡ぐように、はかばかしい瞬間を慈しむすくいあげるように撮り続けました。そのまなざしは、愛を分かち合ったひととひと（飼猫たちも含めて）をモデルにした作品からも感じとることができます。

企画展

ニューヨークが生んだ伝説の写真家

永遠のソール・ライター

2022年9月10日（土）～10月23日（日）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（9月19日（月・祝）、10月10日（月・祝）は開館、各翌日休館）

観覧料：一般／1,000（800）円

高校・大学生、65歳以上／700（560）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：郡山市立美術館

協力：ソール・ライター財団

企画協力：コンタクト、Bunkamura

世界中が平穏な日々を願う今こそ、ソール・ライターの作品が私たちに日常のありようを静かに問いかけてくるのではないのでしょうか。

本展では、ソール・ライターの代表的な写真作品を中心に絵画など約300点を展覧し、その業績を辿るとともに創作の源泉に迫ります。さらに、残された膨大な作品資料のアーカイブ構築を推進する、ソール・ライター財団のプロジェクトの一部を公開します。ソール・ライターの尽きぬ魅力をぜひご覧ください。

（永山 多貴子）



4. ソール・ライター
《アリス》 1950年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
© Saul Leiter Foundation

常設展示室紹介

2022年7月21日(木)～10月10日(月・祝)

郡山市立美術館では、年に4回常設展示室の展示替えを行っています。
4つの展示室それぞれにテーマを設け、さまざまな所蔵作品を紹介しています。

展示室 2 ▶ 近代洋画—水辺を描く—



当館
初公開

川村清雄《滝》1919(大正8)年
油彩・キャンバス



Point !!

生活の場として、憩いの場として、人の営みに欠かせない“水辺”。絵画でも川や湖、滝などは伝統的な画題であり、明治以降の洋画家にとっても親しみ深いテーマでした。涼やかな風景の中で、多彩に煌めく水の表情をご堪能ください。

展示室 1 ▶ 歌う絵画



ウィリアム・ブレイク
《眠るダンカン王に近づくマクベス夫人》
水彩・紙



Point !!

古代ギリシアの悲劇からシェイクスピアの戯曲、ヴェルディやワーグナーのオペラ、そして現代のアニメ映画まで—イギリス美術をとおりて演劇を彩る歌と絵画の世界をお届けします。

展示室 4-① ▶ 版画の幻想世界



柄澤齊
《汝の死は我が命》(『死と変容 | 夜』より)
1988(昭和63)年 木口木版・紙



Point !!

文学性を帯びた夢のような空想空間や、現実を映す鏡としての幻影など、様々に表現された非現実の世界。言葉を越えたイメージが見る者の心を揺さぶります。

展示室 3 ▶ 抽象絵画を見る



今井俊満
《コンポジション23》油彩・キャンバス



Point !!

力強い線や、明るい色、色の対比、色とカタチから生まれる動き、リズム感などに気づき出すと抽象絵画はとたんにおもしろくなります。

次回常設展示室のご案内

2022年10月13日(木)～2023年1月9日(月・祝)

開館30周年 郡山市立美術館名品選

+

テーマ展示

「旅をめぐるコレクション Collection × 旅」

展示室 4-② ▶ 美しきガラス



佐藤潤四郎
《オリンピックブルー硝子皿》
1941(昭和16)年頃 ガラス/宙吹



Point !!

国連が定めた「国際ガラス年2022」にあわせて、当館のガラス作品を特集します。夏にぴったりのガラスで涼をとってみるのはいかがでしょう。

表紙の
作品



サー・ジョシュア・レイノルズ
《エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像》

1777年 油彩・キャンバス 当館蔵

サー・ジョシュア・レイノルズはイギリスを代表する肖像画家です。本作のモデルとなっているエグリントン伯爵夫人、ジェーンは当時20歳でした。琥珀色のドレスを身に纏い、ハーブを弾く様子が描かれています。レイノルズは、本作のような優雅で気品あふれる表現を得意としました。当館の“看板娘”として開館当時より常設展示室でみなさまをお迎えしています。

3 粘土型でつくる 張り子の仮面

1日目に粘土で人や動物の顔の型を塑像し、2日目は、その上に濡らしてちぎった海老根伝統手漉和紙を張りつけていきました。

和紙の風合いを活かしたり、動物にはひげをつけたり、彩色のしかたもさまざまで、個性豊かな作品が完成しました。

粘土と紙という身近な素材を用いて、塑像したものを型取りする技法を体験していただくことができました。

5/14 (土)、15 (日)、22 (日)
講師：大石尚さん (彫刻家)



2月から7月にかけて、4つのワークショップを開催しました。講師は、昨年度の企画展「郡山の美術とであう」でご紹介した、現在郡山を拠点に活動する作家4名です。

1 線で表現 木口木版画講座

イギリスで発展した木口木版の歴史、制作の方法を詳しく教えていただきました。

木口木版は当館のコレクションとも関連が深く、常設展示室でもこの技法を用いた作品を展示することがあります。実際に技法を体験することによって、また違った角度から作品を楽しむことにつながったのではないのでしょうか。

2/19 (土)、20 (日)、26 (土)、3/5 (土)

講師：野口和洋さん (版画家)



4 はじめての「テンペラ」で描く

卵と樹脂、乾性油を混ぜ合わせて卵メディウムを作り、それを顔料(色の粉)と練り合わせた絵具で描く、古典的な西洋絵画技法を体験しました。

明るい色の表現が得意なテンペラに、油絵具を併用することで影や奥行きを足しながら、絵具の特徴を活かして作品を完成させました。

7/2 (土)、3 (日)
講師：齋藤ナオさん (画家)



2 はじめての「岩絵具」で描く

日本の伝統的な画材である岩絵具を用いて、思い思いの図柄を描画をしたり、スタンプのような技法を使ったりと、岩絵具の美しい色や独特の絵肌を活かして作品を制作しました。

普段なかなか触れる機会の少ない画材に親しみをもちただけたように思います。

3/12 (土)、13 (日)
講師：中村亜都子さん (画家)



企画展

会期…2022年4月23日(土)～6月5日(日)

「横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展」

1989(平成元)年に開館した横浜美術館は、幕末以降の横浜ゆかりの美術、写真、そしてシュルレアリスムや現代美術の収蔵品で知られている。

特に幕末明治に外国人がお土産にしていた横浜写真や横浜絵から明治初期洋画へとつながる収蔵品には、当館と共通する部分がある。2000(平成12)年横浜美術館で開催された「幕末・明治の横浜展」に当館から10点の収蔵品を出品したことはそのことをよく示しているだろう。また同館のシュルレアリスムの作品から当館は、同年開催の「グループ〈貌〉とその時代展」でデ・キリコ、エルンスト、マッソンの作品8点をお借りし、戦前の日本における前衛がどこからやってきたのかを具体的に示すことができたのだ。

そんな当館との協力関係もある横浜美術館は、大規模改修工事のため現在休館中である(2023年度まで)。そこで、同館を代表する日本画48点による両館の共同企画展として、この春に当館で「横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展」

を開催することができた。日本画の近代化を推し進めた岡倉天心が設立した日本美術院には、横山大観、下村観山をはじめ、やはり横浜市の三溪園で知られるコレクター原三溪との密接な関係を示す日本画家たちがいる。横浜美術館の収蔵品は、事にそれらを網羅しており、展覧会はそのまま日本美術院の流れを追うことができる貴重な機会となった。

3年前、横浜美術館での最初の会議で、こちらから提出した企画案に、学芸諸氏が「横浜美術館でも開催したい展覧会だ」と述べてくださったことからすべてが具体的に動き出した。その案をもとに両館で作品選定から展示方法、作品解説の内容などについての打ち合わせを重ねた。作品移動のスケジュール調整などには、休館中であるのにも関わらず横浜側から非常に細やかなご配慮をいただいた。

近代日本画の展覧会自体が珍しい当館にあって、企画展示室いっぱいには屏風と軸物が展示されたさまは実に圧巻だった。作品は展示によって異なった表情を見せるものだが、ご来館いただいた蔵屋館長

をはじめとする横浜美術館関係スタッフの方々が、いつもと異なる新しい魅力を感じとっていただけたこともうれしい。このコロナ禍にあっても感染予防に留意しながら展示をご覧いただいた方は、きつとご満足いただけたことと思う。そして横浜美術館が再開したならば、そのコレクション展示室で改めて今回の展示作品たちに出会っていただきたい。

(菅野 洋人)



Report

文化講座

ミュージアム・レクチャー・コンサート『『しろいうま』とわたし』

2021年12月11日(土)

場所：多目的スタジオ

講師

タテタカコさん(ミュージシャン)



タテタカコさん



タテタカコさん(右)と菅野館長

ミュージアム・コンサート「マダムギターパンダ」

2022年3月26日(土)

場所：階段ロビー

舞台美術：手作業 小池 晶子

音響：OLD SHEP

出演

ギターパンダ〔山川のりをさん(ギター、ボーカル)〕、在庭坂デュオ〔長見順さん[マダムギター](ギター、ピアノ、ボーカル)、岡地曙裕さん(ドラム)〕、マダムギターパンダ



ギターパンダさん



在庭坂デュオ



マダムギターパンダ

企画展「スイス プチ・パレ美術館展」関連

会期：2022年2月11日～2022年3月27日

講演会

「フランス美術—豊穡の50年 印象派からエコール・ド・パリまで」

2022年3月6日(日)

場所：多目的スタジオ

講師

佐々木吉晴さん(宇都宮美術館館長、やないづ町立斎藤清美術館館長)



企画展「横浜美術館所蔵 日本美術院の作家たち展」関連

会期：2022年4月23日～2022年6月5日

特別美術講座「院展とその作家たち」

2022年4月29日(金・祝)

場所：多目的スタジオ

講師

八柳サエさん

(横浜美術館主任学芸員)



講演会「横浜美術館の日本画コレクション —天心、三溪、日本美術院」

2022年5月21日(土)

場所：多目的スタジオ

講師

柏木智雄さん

(横浜美術館副館長)



Information

第20回 風土記の丘の美術展

—郡山市内の小学生による作品展—

会期：2022年7月23日（土）～8月19日（金）

主催：郡山市立美術館・郡山市小学校造形教育研究会

場所：美術館ギャラリー（入場無料）

市内を4つの地域に分けて、週替わりで展示します。

展覧会とあわせてお楽しみください。

第1期 7月23日（土）～7月29日（金）

穂積、三和、多田野、河内、片平、喜久田、熱海、安子島、守山、御代田、高瀬、谷田川、金透

第2期 7月30日（土）～8月5日（金）

芳山、橘、小原田、開成、芳賀、桃見台、赤木、薫、富田、富田東、富田西、大槻、白岩

第3期 8月6日（土）～8月12日（金）

東芳、桜、桑野、大島、緑ヶ丘第一、小山田、大成、朝日が丘、宮城、海老根、御館、西田学園、湖南

第4期 8月13日（土）～8月19日（金）

日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、行徳、安積第一、安積第二、安積第三、永盛、柴宮、郡山ザベリオ学園



第19回 風土記の丘の美術展 展示風景

新型コロナウイルス感染症対策について

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします



- 発熱、呼吸器症状（咳など）のある方は入館をご遠慮ください。
- 団体でご来館の際は事前予約をお願いします。
- 混雑する場合は入場制限をすることがあります。

TOPICS



営業時間／11:00-17:00
電話／024-942-2250

【デザートドリンクのご案内】

フレッシュミックスベリーのファームヨーグルト

690円

自家製ヨーグルトを使用した苺ミルクをベースに
ヨーグルト・ブルーベリーソース・バニラアイスクリーム・
ホイップクリームと4種のベリーをトッピング。
ヨーグルトを使用しているのですっきりとした甘さ。
ベリーとヨーグルトの栄養を一度に補給できる
パフェのようなドリンクです。

メニューや料金、営業時間は予告なく変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。



郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art

発行日／令和4年7月14日

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350
<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum>

敷地内禁煙



紙へリサイクル可
この紙はFSC®認証紙です。